

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（11月定例会）会議録
開催日時	平成21年11月20日（金曜日）14時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階第2会議室
出席者	委員：小川議長、濱崎副議長、岡村委員、倉島委員、齋藤委員、白木委員、須永委員、高谷委員、本田委員、本領委員、松嶋委員、宮崎委員、山田委員（五十音順） 事務局：波方社会教育課長、下田社会教育係長、神田主査 関係職員：スポーツ振興課福田主査、相原公民館長、小池図書館長
議題	（1）今期の活動計画について （2）報告、その他
配布資料	1 平成20年度社会教育関係事務報告 ・図書館だより第35号 ・都市社連協第4ブロック研修会資料 ・第40回関東甲信越静社会教育研究大会資料
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	

平成21年10月定例会議の会議録を確認後承認する。

(1) 今期の活動計画について
主な意見等

委員：

社会教育委員の役割として、社会教育計画の策定に係る事があると思うが、西東京市では策定されているのか。公民館や図書館で行われる事業については、館長の諮問機関である公民館運営審議会や図書館協議会で検討して行く事になり、社会教育委員の会議としてはどういった活動テーマがいいのか難しい点がある。

事務局：

生涯学習推進計画はあるが社会教育計画の策定はしていない。これまでの提言等のテーマを見ると、社会教育行政全体に係るテーマもあるが、「教育委員会後援名義使用承認」とか「社会教育関係団体補助金のあり方」など、社会教育課での喫緊の課題について提言をいただいたりしている。

委員：

公民館や図書館、スポーツ行政それぞれに専門の審議組織があるという中で、社会教育委員の会議で共有して取り組めるテーマは何なのだろうか。

委員：

社会教育委員は各委員には独自の地域活動があり、その活動経験を踏まえて、地域で社会教育活動をしている団体や行政に指導、助言をしていくことができる。また、緊急性のある課題については、行政の方から社会教育委員の会議に対して諮問が出され、それに対して答申をしていくこともある。幅広い施策について意見を言うことができるので、活動のテーマも自由度が高くなる。この会議は、委員の情報交換の研鑽の場として位置づけ、専門性を身につけていくことも大切だろう。また、いろいろな事業に係って行く事でアドバイスができるようになるのではないかと。

事務局：

今後委員研修会の開催も予定している。委員の活動について理解を深めながら、活動テーマについて引き続き検討をしていただきたい。

(2) 報告、その他

1. 行政報告

資料1「平成20年度社会教育関係事務報告」に沿って、各課長・館長より報告。

・社会教育課の行政報告（波方社会教育課長）

・20年度に社会教育委員の会議から「菅平少年自然の家のあり方について」で提言された「廃止」という結論については、教育委員会に報告した。今後は、庁内検討委員会で21年度中に結論を出す事になっている。

その他配布資料のとおり

・スポーツ振興課の行政報告（スポーツ振興課福田主査）

・平成20年度から12のスポーツ関連施設を指定管理者制度により運営している。

20年度の施設の利用率は、19年度に比べて10%程度の増となっている。

その他配布資料のとおり

・公民館の行政報告（相原公民館長）

・平成20年6月の「保谷駅前公民館」の開館を受け、平成21年4月から「保谷公民館」の名称を「柳沢公民館」に変更した。

その他配布資料のとおり

・図書館の行政報告（小池図書館長）

・平成20年度ICタグの導入により、自動貸し出しが開始された。20年度は、19年度に比べ、登録者・貸し出し冊子ともに増加している、。

その他配布資料のとおり

・菅平少年自然の家の行政報告（代理報告：波方社会教育課長）

・利用の6割強が市内小学校の移動教室である。11月から4月は暖房のない8室を閉じて、施設の維持管理費を縮小し運営している。利用料金は安価に設定してあるので、利用率が上がると赤字になるという傾向にある。

その他配布資料のとおり

主な質疑応答・意見等

委員：

菅平少年自然の家の今後の取り扱いについては、社会教育委員の会議から出された提言のとおり、「廃止」が妥当だと思う。現在、庁内で検討されているということだが、中間報告でも良いのでそこでの検討内容について報告してもらいたい。

委員：

にしはらスポーツクラブの賛助会員3口の内容と運営委員はどのような人がなっているのか教えて欲しい。

スポーツ振興課：

運営委員会は、スポーツクラブの運営や事業企画運営を担う組織で、部会を作って活動している。運営委員は、スポーツに係っている地域の人や教室指導者、サークルメンバーから構成されている。賛助会員については、調べて次回報告します。

委員：

下保谷図書館が保谷駅前図書館に移ったことで、下保谷地区の図書館サービスポイントがなくなったが、図書館として今後この地域への対応はどう考えているのか。

図書館長：

西東京市の図書館サービスは、図書館7館で市内の全利用圏に対応している。この全市的なサービスネットワークを活用して下保谷エリアへのサービスも行っていきたい。駅前図書館の開館により、児童サービスの充実が図られたと考えているが、平成24年開館予定の「下保谷児童センター」にも図書室が設置されると聞いており、そこでの児童サービスに対する支援もしていきたい。

委員：

ICタグの導入により自動貸し出しが開始されたが、職員の仕事量は軽減されたのか。自動貸し出しのトラブルにより職員が忙しくなったといった状況はないか。

図書館長：

図書館の職員は、7割が司書有資格者であり、専門性を発揮しながら窓口業務を行っている。カウンターでの職員による貸し出しと自動貸し出しは、半々ぐらいだと思う。自動貸し出し導入当初は多少の混乱もあったかと思うが、職員が丁寧に説明し対応する事により、順調に市民に周知されてきていると思う。現在、予約本が窓口でしか貸し出せないため、職員のカウンター業務がなくなる事はない。手狭なカウンターでは、すべて自動貸し出しにしていく事が難しいが、施設整備の改善を行いながら職員の負担軽減を図り、図書館サービスを充実させていきたいと考えている。将来的には銀行のATMのようなイメージで、利用者が自由に本を借りられる状況を目指したい。

委員：

図書館では市民からの本の寄贈を受付けているか。

図書館長：

市民の方が図書館に直接お持ちいただいた本は基本的には受付けている。古いものや、すでにある本など受け入れのできないものについては、全館のリサイクルコーナーに置いて、来館者に持ち帰ってもらっている。

委員：

図書館の利用者用インターネット端末は、芝久保図書館と新町分室が未設置だが、今後設置の予定はあるのか。

図書館長：

ありません。

委員：

全公民館の利用団体一覧ができたと聞いたが、どこの公民館に行っても教えてもらえるのか。

公民館長：

6館の公民館利用団体で公表してもいいという団体を分野別にまとめた団体名簿を各館で閲覧できるよう整備した。団体の詳細については、その団体の登録館で聞いてもらう事になると思うが、団体の連絡先等は各館の窓口で教える事ができる。

2. 倉島委員より研修会資料に沿って都市社連協第4ブロック研修会の報告

- ・日時 10月17日（土曜日）午後1時～4時30分
- ・場所 清瀬市生涯学習センター多目的ホール
- ・内容 講演会1.「次世代に伝える食」（矢澤洋子：女子栄養大学生涯学習講師）
講演会2.「食とからだを考える」（長野信一：日本体操研究所所長）

- ・参加者 小川委員、倉島委員、宮崎委員、齋藤委員
- 3. 齋藤委員より大会報告資料に沿って全国社会教育研究大会の報告
 - ・日時 11月2日（月曜日）午後1時～4時
 - ・場所 さいたま市「さいたまスーパーアリーナ」
 - ・内容 講演会「学びのすすめ」（坂東眞理子：昭和女子大学学長）
 - ・参加者 濱崎委員、齋藤委員、須永委員
- 4. 都市社連協全体交流会の参加について
 - ・日時 11月28日（土曜日）午後1時から
 - ・場所 東久留米市立中央公民館
 - ・参加予定 小川委員、倉島委員、濱崎委員、松嶋委員
- 5. 社会教育指導者研修会の参加について
 - ・日時 1月30日（土曜日）午後1時から
 - ・場所 東京都教職員研修センター（予定）
 - ・参加予定 小川委員、濱崎委員、須永委員

議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（11月定例会）は終了する。

次回会議 平成21年12月18日（金曜日）午後2時から